

1. 幼稚園の教育目標

おともだちも 自分も 大好きな子ども
 うきうき わくわく 楽しめる子ども
 さいごまで あきらめない子ども
 かんがえて 自分の思いを伝える子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標・
 学校評価の具体的な評価項目

重点的に取り組む目標	具体的な評価項目
伸び伸びと主体的に遊びや生活を進める子どもの育成	幼児が伸び伸びと遊びや生活を進めるための環境の工夫
	保護者との信頼関係づくり

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
幼児が伸び伸びと遊びや生活を進めるための環境の工夫	3	・合同保育を進めるにあたって、異年齢の自然な関わりが生まれる環境や意図した交流内容などを考えてきた。今後は、話し合いのもち方や週案などの工夫をし、合同保育を意識した環境構成に努め、園全体として考え進めていくことができるようにしていきたい。
保護者との信頼関係づくり	3	・登降園時など、保護者と直接話す機会を多く設けてきたことで、話しやすさを感じてもらうことができ保護者から話し掛けられることが増えた。 ・保護者からの話は、内容によっては個別で場や時間を設けたり、回りに配慮したりして、安心して話ができるようにスピーディーかつ丁寧に対応できた。

4. 学校関係者評価及び意見の概要

・栽培や飼育など生命を尊重する心が育つ取り組みができていと感じる。
 ・園内外の環境を生かしたり、計画的な運動遊びを通して体力づくりにつながったりしている。
 ・園全体で子どもたちを見守っていたため、個々に合った支援を行いやすいのが、大きなメリットであるので、今後も強みとして生かしてほしい。またその事が保護者の安心につながっている。
 ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成については、近隣の保幼小で学び合いを深めていけるように、今後も取り組みの浸透を願う。また、小学校が隣にある立地を生かし、積極的に交流を深めることができていた。
 ・安心・安全な保育が進められていると感じる。避難訓練では、周知なしに行うことで子どもが状況を考え、動く姿につながっていると家庭でも感じるの、今後も自分の命を自分で守れる訓練の在り方を継続してほしい。

5. 自己評価結果と学校関係者評価の結果を踏まえた、
 学校評価の具体的な目標の総合的な評価結果の概要・今後に向けて

結果	理由
3	・子ども一人一人のやりたいこと、楽しみたいことを姿から読み取り、環境と援助を考えられた。また、合同保育を進めるにあたって、異年齢の自然な関わりが生まれる環境や意図した交流内容を考えてきた。どの教員とも話し合える関係を築けたことが活発な意見交流となった。来年度は、話し合いのもち方や指導計画作成の工夫をし、合同保育を意識した環境構成に努め、園全体として考え進めていきたい。 ・保護者とは、直接話す機会を多く設けてきたことで、話しやすさを感じてもらうことができた。保護者からの話の内容によっては、個別で場や時間を設けたり、回りに配慮したりして、安心して話ができるようスピーディかつ丁寧に対応してきた。今後も、更に安心・安全な園づくりを目指していく。 ・保幼小連携事業では、計画的かつ密な交流を図ってきたことで、職員同士が共に子どものことを考えていける関係づくりができた。来年度も意味のある交流を精選して行っていきたい。

◎項目3及び項目5の評価結果の表示方法

3・・・よくできた 2・・・できた 1・・・あまりできなかった 0・・・まったくできなかった